

船舶

造船・海洋開発

IMCOLレポート／高度合理化コンテナ船“新加州丸”
／自動車専用船“とよふじ7”／“ペガサスⅣ”乗船



広島工場因島で完工した“新加州丸”

 **日立造船**

新造船の紹介 / New Ship Detailed

高度合理化コンテナ船“新加州丸”の基本計画	山下新日本汽船工務部	12
On the Basic Planning of Super Rationalized Container Ship “SHIN-KASHU MARU”	Yamashita-Shinnihon Steamship	
“新加州丸”の設計と建造	日立造船	21
On the Design and Built of “SHIN-KASHU MARU”	Hitachi Zosen	

ツインバンク機関搭載国内船第1船“とよふじ7”	内海造船	28
Car Carrier “TOYOFUJI No.7” on TWIN-BANK Diesel Engine	Naikai Shipbuilding & Engineering	

IMCO レポート No.1	9
----------------	---

連載 / 山縣昌夫先生と目白水槽<8>	重川 渉	36
---------------------	------	----

韓国の造船所の現状(2)	間野正己	39
--------------	------	----

連載 / 液化ガスタンカー<43>	恵美洋彦	48
-------------------	------	----

写真で見る / 白いヨット“ペガサスIV”乗船	54
-------------------------	----

舟艇協会創立50周年記念特集・1

モーターボート用エンジンの今昔	大竹和夫	65
(財)舟艇協会創立50周年略年譜		60

海外事情 / 世界最大のコンテナ船“Frankfurt Express”の軸直結発電装置について	27
--	----

NK コーナー	38
---------	----

1981年9月末現在の造船状況	75
-----------------	----

ニュース・ダイジェスト	78
-------------	----

特許解説 / Patent News	80
--------------------	----

表紙 / 山下新日本汽船向け高度合理化コンテナ船“新加州丸”

日立造船広島工場因島で56年10月16日竣工、引渡された本船は、日本～米国西海岸航路の1,450個(うち冷凍コンテナ200個)積のコンテナ専用船としてその機能を果せるように、船体、機関および諸設備が設計されている。船型は高速力による主機関の高馬力化を極力さけるために球状船首および船体振動を減少させるための膨出型船尾を採用した高速経済船型である。また、機関部は機関室無人化運転が可能な設備が装備されており、甲板部には、衛星航法装置、自動操舵装置、海事衛星通信装置などを装備した超合理化船である。(詳細は本文12頁参照)